

CADlook

Viewer/Translator

Version 10 日本語版

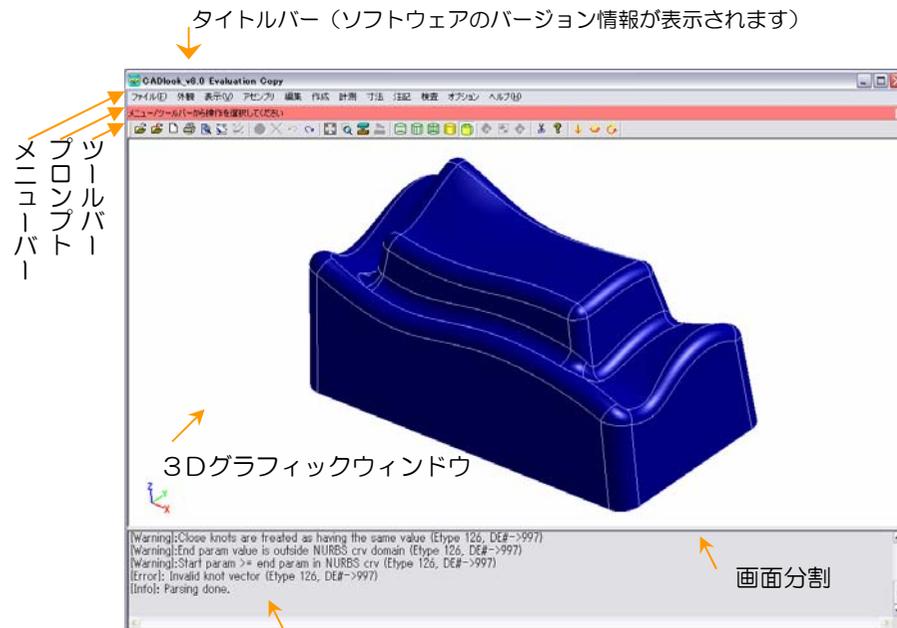
■主な機能紹介



有限会社ディー・エム・ヴィジョン

CADlook v10 日本語版 主な機能紹介

CADlookウィンドウ名称



メッセージウィンドウ
測定結果などのメッセージが表示されます。
txt形式での保存ができます。
*現在のバージョンでは、ソフトウェアの仕様により
全てのメッセージは日本語で表示されません。



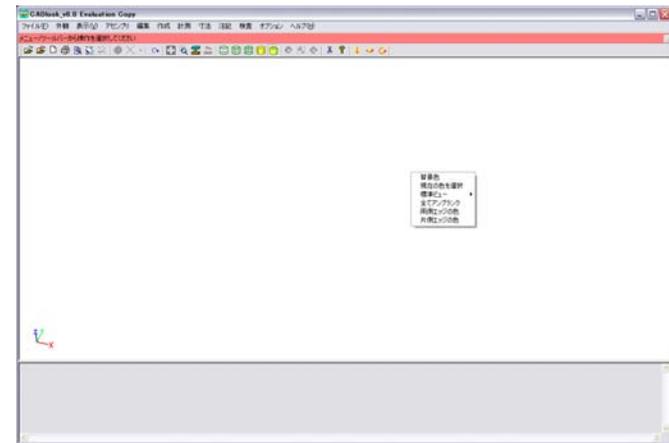
*このダイアログはデモモードで起動している場合にのみ現れます。
デモモードで起動できる日数が表示されます。

ツールバー説明

- “ファイルを開く” IGES STEP PARASOLID ACIS VDA-FS NC-Gコード形式を選択できます。
- “ファイル追加読み込み”
- “新規”
- “印刷”
- “印刷プレビュー”
- “メッセージ・ウィンドウをクリア”
- “装飾グラフィックをクリア”
- “操作完了”
- “操作キャンセル”
- “入力やり直し”
- “最後の操作を繰り返す”
- “フィット”
- “矩形ズーム”
- “ビューを保存”
- “ビューを切り離し”
- “境界ワイヤ”
- “隠れ線”
- “ワイヤー”
- “シェード”
- “ワイヤ移動”
- “シングル選択”
- “範囲選択”
- “範囲解除”
- “ピックで要素を削除”
- “CADlookについて”
- “X軸回転”
- “Y軸回転”
- “Z軸回転”

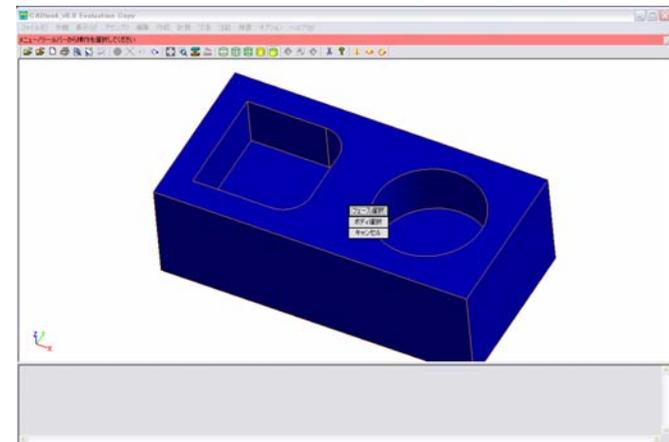
背景色の変更

グラフィック画面上でマウスを右クリックしてください。
ショートカットメニューが現れます。“背景色”を実行すると背景色変更ができます。



形状の色変更

読み込まれた形状の上でマウスを右クリックしてください。
ショートカットメニューが現れます。例えば、ソリッドデータを読み込んだ場合
“ボディー選択”を実行すると更にショートカットメニューが現れます。
“色変更”を実行すると形状の色が変更できます。



グラフィック精度調整

メニューバー→表示→“グラフィックを精細描画”



読み込まれた形状データのグラフィック精度を調整することができます。

レイヤー操作

CADlookは設定されているレイヤー情報をそのまま利用することができます。

メニューバー→外観→“レイヤーのみ”

例えば、読み込まれたデータにレイヤー番号が設定されていた場合、レイヤーごとの表示・非表示などの操作が可能です。

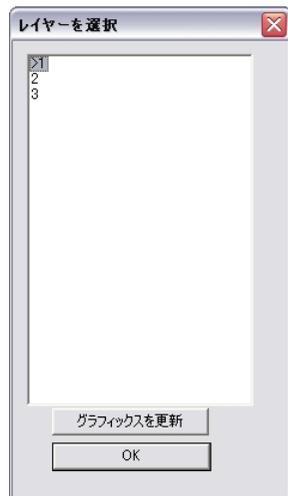
レイヤー番号1番だけを表示する場合には、右図のように1番をハイライトさせ“グラフィックスを更新”をクリックしてください。レイヤー番号1番だけ表示されます。もちろん複数選択も可能です。“Ctrlキー”を押しながら複数選択してください。

(注) CADlookは、全角により設定されたレイヤーの番号・レイヤー名はサポートしておりません。全角により設定されているレイヤー番号・レイヤー名を読み込んだ場合、実際のレイヤー番号・名とは違う番号で処理されます。

その他、“図面要素のみ”や“グループのみ”などの機能を利用すると読み込まれたデータの表示・非表示が簡単に行うことができます。

(注) 図面要素・グループなど設定されていないデータの場合、機能は利用できません。

CADlookで新たなレイヤー番号を設定する機能はサポートされておりません。



両側エッジの色・片側エッジの色

両側エッジの色 → ソリッド情報に対するエッジの色

片側エッジの色 → サーフェスに対するエッジの色

エッジの色によりソリッド要素及びサーフェス要素の識別をすることができます。

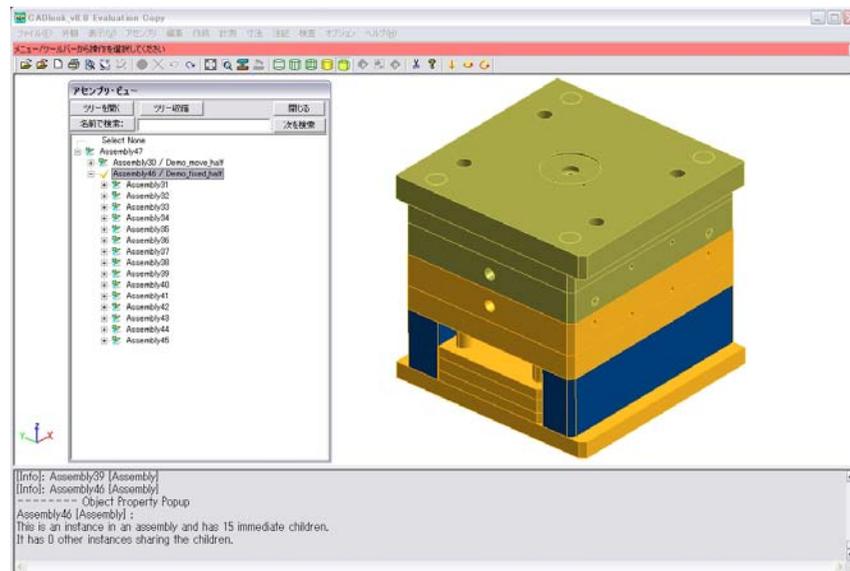
更に詳しい情報は、オンラインヘルプをご参照ください。

アセンブリデータの操作

IGES・STEP・X_Tそれぞれの形式では、アセンブリ情報を含んでいる場合があります。例えば、これらのデータ形式でアセンブリ情報を含んでいるデータであればCADlookはアセンブリ構造を認識することが可能です。

CADlookがアセンブリ情報を認識するとメニューバー→アセンブリ→アセンブリ・ビューを利用することができます。アセンブリ・ビューを利用するとアセンブリを構成しているデータに関して色々な操作をすることが可能となります。

更に詳しい情報は、オンラインヘルプをご参照ください。



編み合わせ機能①

CADlookは、読込んだデータを編み合わせる機能があります。

メニューバー→編集→ピックで編み合わせ

編み合わせを行う手順は、下記のとおりです。

メニューバー→編集→“ピックで編み合わせ”を実行します。
下記のツールバーを利用して作業を進めます。



例えば、形状全体を全て選択して編み合わせを行うには...

 範囲選択コマンドを利用して形状全体を選択します。

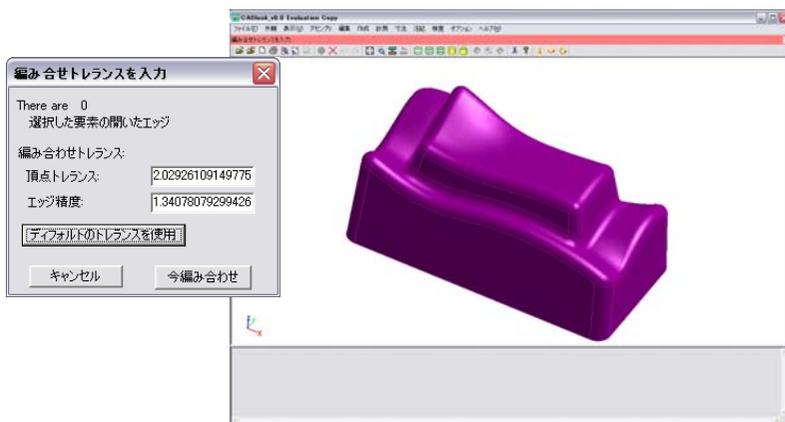
選択された形状は“紫色”にハイライトしますので  “操作完了”をクリックし操作を完了します。

操作を完了すると“編み合わせトレランスを入力”ダイアログが現れます。

“今編み合わせ”をクリックすると編み合わせが完了します。

(注)アンドゥ・リドゥ機能はございません。

途中で作業を中断するときには  操作キャンセルをクリックしてください。

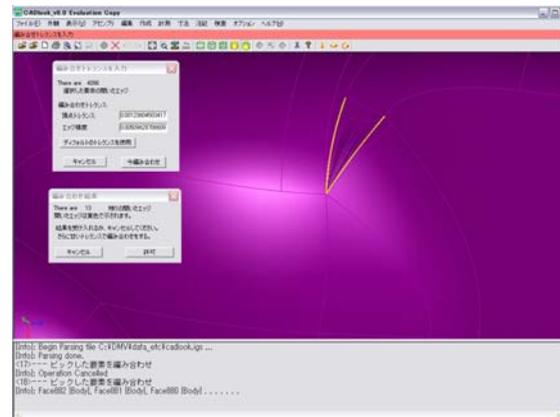


編み合わせ機能②

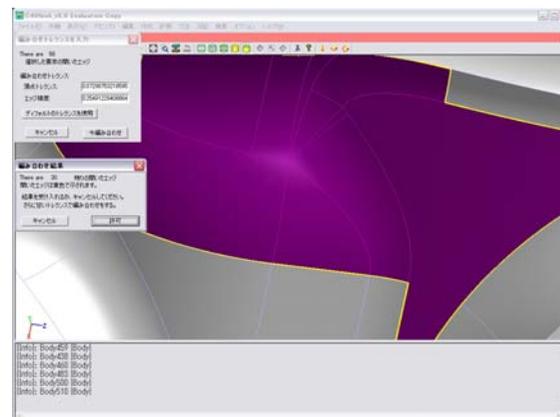
例えばIGESデータを読み、部分的に編み合わせ処理を行う場合には下記の手順で行うことができます。CADlookでは、網合わせ処理を何度も行うことができますので部分的に編み合わせを行った後、再度、全体的に編み合わせを行うことができます。

下記の場合、部分的にデータの品質が良くないIGESデータを編み合わせした結果です。黄色くハイライトしている部分が、編み合わせできない部分です。

この場合、部分的に編み合わせを行い、再度全体的に編み合わせを実行することにより全体の編み合わせを完了させることができます。



部分的に編み合わせをおこなったところ。（この後続けて全体的に編み合わせも可能です）



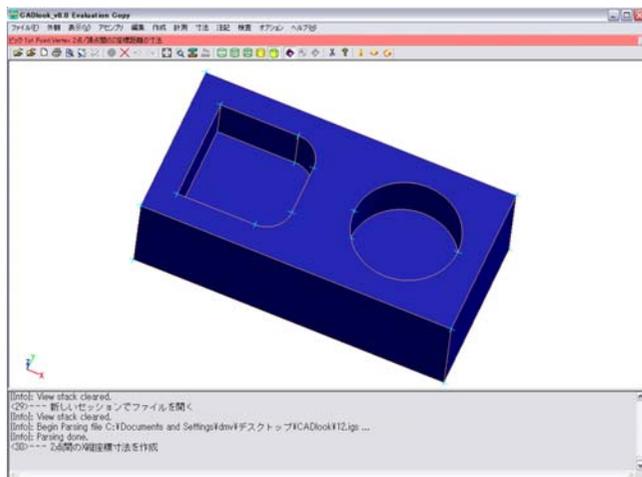
更に詳しい情報は、オンラインヘルプをご参照ください。

寸法線定義

メニューバー→“寸法”

CADlookは、読み込まれた形状に対して“寸法線”などのコマンドを実行しようとするとき読み込まれた形状に対して特長的な部分に“補助点”を表示します。

下記の図は、寸法線を定義しようとしたときの“補助点”です



その他、色々な要素から寸法線を作成することができます。



(注) 寸法線に対する数値桁表示の設定は、メニューバー→オプション→“寸法/注釈”で行えます。



更に詳しい情報は、オンラインヘルプをご参照ください。

注記 (マークアップ)

CADlookは、グラフィックウィンドウへ日本語で注記することができます。

メニューバー→“注記”

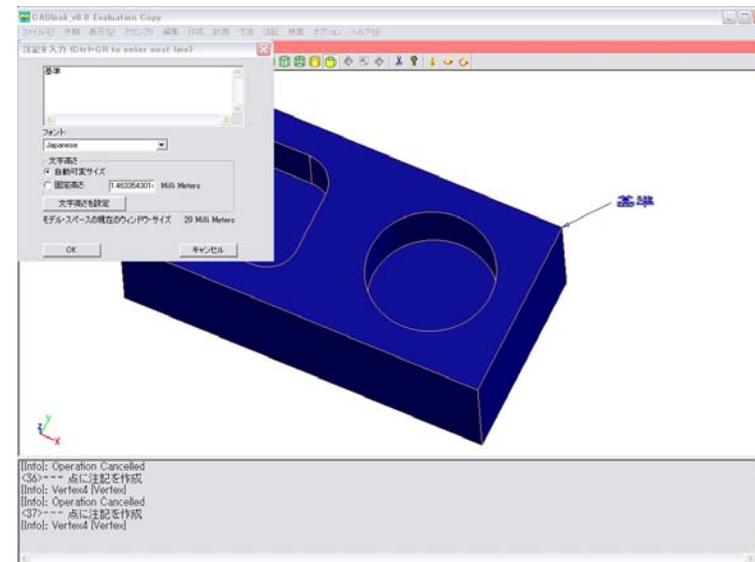
例えば“ポイントに付加”を使用して注記を作成します。

“ポイントに付加”を選択すると形状に対して特長的な部分に“補助点”が表示されます。注記を付加したいポイントを選択します。(左クリック)

特徴的な部分の“補助点”が消えます。次に、注記を表示したいグラフィックウィンドウを左クリックします。

“注記を入力”ダイアログが現れますので注記したい文字列を入力します。

(注)現在のバージョンでは、日本語フォントは一種類のサポートとなります。

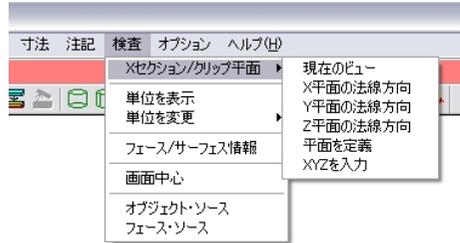


更に詳しい情報は、オンラインヘルプをご参照ください。

断面の生成

メニューバー→検査→“Xセッション/クリップ平面”

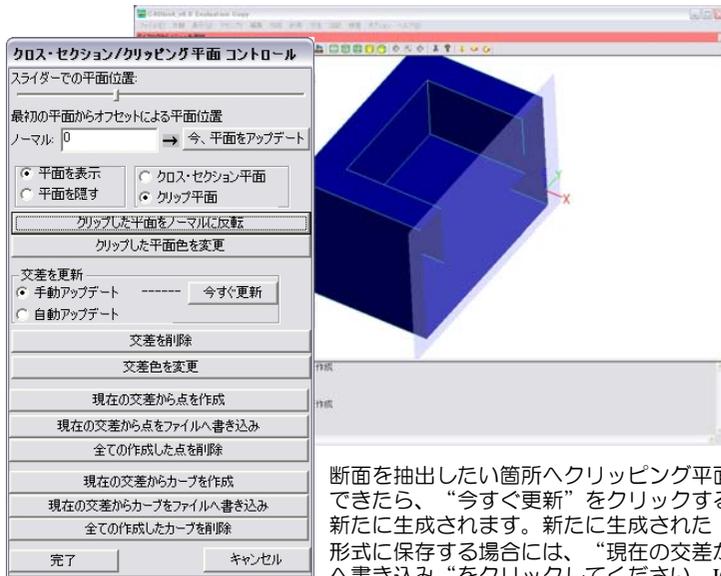
CADlookでは、形状の断面から“断面線”“断面点”を抽出し“断面線”及び“断面点”だけをIGES形式で保存することができます。



例えば、“X平面の法線方向”を利用した断面線の抽出方法は下記のとおりです。

CADlookへ形状を読みませます。

メニューバー→表示→座標軸→“原点で表示”を使用して読み込まれたデータの座標軸を確認します。“X平面の法線方向”を使用すると下記のように断面を定義することができます。



断面を抽出したい箇所へクリッピング平面を定義することができたら、“今すぐ更新”をクリックすると“断面線”が新たに生成されます。新たに生成された“断面線”をIGES形式に保存する場合には、“現在の交差からカーブをファイルへ書き込み”をクリックしてください。IGES形式での保存ができます。

更に詳しい情報は、オンラインヘルプをご参照ください。

ファイル入出力設定画面

メニュー→オプション→ファイル生成



ファイル入出力に関するパラメータ設定を行うことができます。

IGES書き込みではソリッド（186）からサーフェス（144）に変換して書き込むことが可能です。

SAT書き込み

例えばアセンブリされているファイル（IGES STEP Parasolid）をアセンブリ構造を保持したままSAT(Acis)へ変換する際に使用する項目です。（.saa）

SATバージョン

SATのバージョンを指定する項目です。

Parasolidのバージョン

Parasolidのバージョンを指定する項目です。

* その他、変換に関する各種詳細は、オンラインヘルプをご覧ください。